

大阪科学・大学記者クラブ・行政機関広報担当 各位
(同時資料提供＝大阪経済記者クラブ)

NEWS RELEASE

2018年4月9日配信【No.1】 <<配信枚数 4枚>>

都心型オープンイノベーション拠点 開設記者会見の開催について 大阪工業大学と大阪商工会議所が連携して本学に開設

- 大阪工業大学（学長：西村泰志）と大阪商工会議所（会頭：尾崎裕）は、大阪工業大学梅田キャンパスのロボティクス&デザインセンターに都心型オープンイノベーション拠点を4月23日に開設するにあたり、同日、久禮哲郎理事長と尾崎裕会頭による記者会見を同センターで開催します。
- このたび開設する拠点では、大企業、中堅・中小企業、スタートアップ、社会人、学生等の多様な主体がオープンイノベーションを通じて課題解決、新規事業創出を行うためのマッチング支援、産業人材の育成等の様々なプログラムを実施していきます<添付資料1参照>。
- 同日は、記者会見に先立ち、記者向け事前レクチャーを行い、拠点名称も発表いたします。引き続き開催する開設記念シンポジウム、施設見学もプレスオープンです<添付資料2参照>。

【開催概要】

(1) 記者向け事前レクチャー

時 間 2018年4月23日(月) 12:45～13:20
場 所 大阪工業大学 梅田キャンパスOIT梅田タワー 8階
ロボティクス&デザインセンター
(大阪市北区茶屋町1-45)
内 容 ①都心型オープンイノベーション拠点の概要説明
②質疑応答

(2) 開設記者会見

時 間 2018年4月23日(月) 13:30～13:50
場 所 大阪工業大学 梅田キャンパスOIT梅田タワー 8階
ロボティクス&デザインセンター
内 容 ①挨拶
学校法人常翔学園 理事長 久禮 哲郎
大阪商工会議所 会 頭 尾崎 裕
②拠点名称の発表、写真撮影
③質疑応答

【取材について】

○取材の受付は、12:15から大阪工業大学 梅田キャンパスOIT梅田タワー1階受付カウンターで行います。

受付で名刺の提供もしくは受付簿への記入をお願いします。

○取材に際しては、必ず自社腕章を見えやすいところに着用してください。

○報道関係者の方は、受付順に会場にご入場いただきます（1社につき1カメラ）。

○取材にあたっては、職員の指示、誘導に従ってください。

以 上

<添付資料>

資料1：大阪工業大学梅田キャンパスにおける都心型オープンイノベーション拠点の創設について

資料2：都心型オープンイノベーション拠点 開設記念シンポジウム 開催案内

■内容に関するお問い合わせ

大阪工業大学 ロボティクス&デザイン工学部 システムデザイン工学科（担当：松井 謙二 教授）

TEL:06-6147-8538／大阪市北区茶屋町1-45

※松井教授が不在の場合：ロボティクス&デザインセンター（担当：梶）TEL:06-6147-6436

■本件発信部署・取材のお申し込み先

学校法人常翔学園 広報室（担当：松下、上田）TEL：06-6167-6208、携帯：090-3038-9887

大阪経済記者クラブ会員各位
(同時資料提供＝大阪科学・大学記者クラブ)

大阪工業大学梅田キャンパスにおける 都心型オープンイノベーション拠点の創設について

【お問合せ】大阪商工会議所 経済産業部 (竹中、玉川)
TEL 06-6944-6300

- 大阪商工会議所と大阪工業大学は、大阪工業大学梅田キャンパスのロボティクス&デザインセンターに、大企業、中堅・中小企業、スタートアップ、社会人、学生等の多様な主体による都心型オープンイノベーションを支援する拠点を4月23日に創設します。両者は、同拠点を運営するための団体を新設し、オープンイノベーションによる課題解決、新規事業創出に向けたマッチング支援や、産業人材の育成等の様々なプログラムを実施していきます。
- 課題解決のアイデアは、本社や中央研究所から離れ自社の既定路線に関係なくチャレンジできる「出島」的な環境や、多様な主体が交流する場から生み出されることが多いと言われます。また、新規事業創出においては、「ユーザー中心主義に基づきアイデアをいち早く試作品として見える化し、修正しながら仕上げていく」という、デザイン思考が注目されています。
- 大阪商工会議所は、多様な主体への幅広いネットワーク、産学・産産マッチングの豊富な実績を有しており、同拠点では、多様な主体の交流や「出島効果」の発揮を促進し、新規事業の創出を支援します。一方、大阪工業大学梅田キャンパスでは、大阪工業大学の教員および米国シリコンバレーからの客員教授がデザイン思考を指導し、約100名がワークショップを行える約1,000㎡のスペース、各種の試作機器(3Dプリンター、レーザー加工機、CNC加工機等)も備えています。大阪工業大学は、同拠点を「学生が実社会課題に挑戦し、革新的なアイデアを創出するイノベーション人材育成拠点」と位置付け、新しいエンジニア教育プログラムの開発に取り組みます。
- 具体的には、①新規事業創出に関する課題を解決したい企業(幹事企業)がテーマを示し、他の企業等とチームを組成してデザイン思考の手法で課題解決を促進する「フューチャー・ラボ」、②他社と連携して事業化したいビジネスプランを発表し、連携を希望する企業とマッチングする「ビジネスプラン発表会」、③学生がユーザー・若者視点で企業の課題解決を提案する「産学連携PBL(Problem-Based Learning:課題解決型学習)」等を実施します。
- 同拠点は会員制で運営し、メンター、アドバイザー、支援パートナーにもご協力いただきます。今後、参画者を募集していきますが、現時点での賛同者は以下の通りです(順不同)。

【会員企業】

大和ハウス工業(株)(幹事企業) / (株)エディオン / 大阪ガス(株) / (株)博報堂 / 日立造船(株) / (株)三井住友銀行

【アドバイザー】

大阪工業大学 教授 本田 幸夫氏 / 同大学 教授 松井 謙二氏 / 大阪大学 教授 森下 竜一氏 / 京都大学 教授 梶山 泰生氏

【メンター】

(株)QUANTUM 井上 裕太氏 / 合同会社SARR 松田 一敬氏 /

(株)Darma Tech Labs 牧野 成将氏 / (株)日本総合研究所 東 博暢氏 / (株)ペイフォワード 谷井 等氏

【支援パートナー】

大阪府 / 大阪市・大阪イノベーションハブ / 近畿経済産業局 / (一社)関西ニュービジネス協議会 /

(株)QUANTUM / 日本ベンチャーキャピタル(株) / ハックベンチャーズ(株) / FAAVO大阪 / (株)マクアケ

以上

<添付資料> 大阪工業大学梅田キャンパス 都心型オープンイノベーション拠点 概要

大阪工業大学梅田キャンパス 都心型オープンイノベーション拠点 概要①

■目的

大企業、中堅・中小企業、スタートアップ、一人メイカー、学生等との出会いの場を創出し、オープンイノベーションによる課題解決、新規事業創出を支援するとともに、産学連携を通じたイノベーション人材教育を行う。

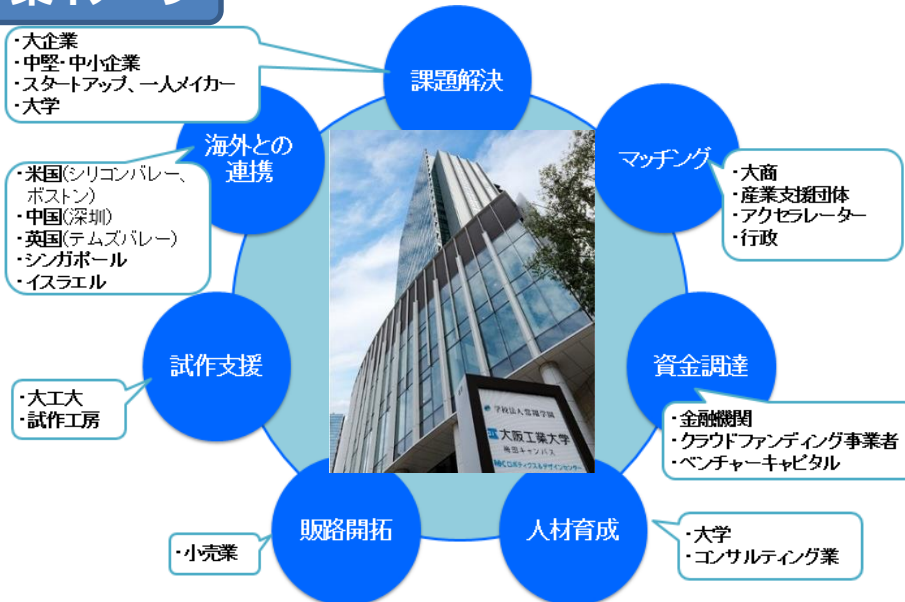
■開設予定

2018年4月23日

■事業目的

1. 多様な交流機会の創出
2. 企業の課題解決をテーマにした新規事業の創出
3. デザイン思考の習得とイノベーション力の向上
4. アイデアを持った一人メイカーの支援・育成
5. ビジネス創出の実体験を通じた次世代人材の養成

事業イメージ



運営体制

事業主体	任意団体
所在地	大阪工業大学 梅田キャンパス内 (大阪市北区茶屋町1番45号)
運営主体	・大阪商工会議所 ・大阪工業大学
主要事業	<ol style="list-style-type: none"> 1. 交流事業 <ol style="list-style-type: none"> (1) 課題解決プラットフォーム「フューチャーラボ」 (2) ビジネスプラン発表会 (3) ネットワーキングプログラム※ (4) 産学連携PBL (Problem-Based Learning: 課題解決型学習) 2. 研修事業 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「デザイン思考」講座 (2) 「イノベーションメカニズム」講座 (3) 「モノづくり企業のための知的財産入門」 3. 試作支援事業 4. 海外連携プログラム 5. 知財関連アドバイス
会員制度	会員の年会費は企業規模に応じて設定 会員企業のうち、本拠点の利用者はユーザー登録が必要

※大商事業の一部も拠点と共催で実施する

大阪工業大学梅田キャンパス 都心型オープンイノベーション拠点 概要②

会員区分・料金体系

会員の年会費(幹事企業を除く)は企業規模に応じて設定※1。会員のうち、本拠点の利用者はユーザー登録が必要

会員の種類	幹事企業	大企業	中堅・中小企業	スタートアップ、 一人メイカー、学生
年会費※2	300万円	50万円	5万円	無料
フューチャー・ラボ	企画○ / 参画○	× / ○	× / ○	× / ○
ビジネスプラン発表会	発表○ / 参加○	○ / ○	○ / ○	○ / ○
ネットワーキング	○	○	○	○
PBL	○	○	○	×
研修	講座により個別に設定			
試作支援	フューチャー・ラボの参加メンバー			○※3
海外連携プログラム	○※4	○※4	○※4	○※4
知財関連アドバイス	案件により個別に設定			

※1 メンター、アドバイザー、支援パートナー等への相談で、会費とは別途、実費や報酬が生じる場合あり

※2 開設年度の年会費は上表の通りだが、拠点の事業規模に応じて変動する可能性あり

※3 フューチャー・ラボの参加メンバーでなくても、ビジネスプラン発表会で、大企業や大阪工業大学の専門家から関心、評価が高かったスタートアップ、一人メイカー、学生等は利用可

※4 渡航費、一部プログラム参加費は別途要

都心型オープンイノベーション拠点 開設記念シンポジウム

大阪商工会議所と大阪工業大学は、大阪工業大学梅田キャンパスのロボティクス&デザインセンターに、大企業、中堅・中小企業、スタートアップ、社会人、学生等の多様な主体によるオープンイノベーションおよび人材育成を支援する都心型拠点を4月23日に開設します。その開設記念シンポジウムでは、大阪工業大学の客員教授で、スタンフォード大学講師、“Foresight and Innovation”開発者のTamara Carleton（タマラ・カールトン）氏から「オープンイノベーションエコシステム構築に向けたビジョンの共有」と題して基調講演いただくほか、同拠点に参画する企業・団体の代表者等が大阪でのイノベーション創出について議論します。

◇開催概要

【日時】2018年4月23日（月）14:00～16:00（施設見学は16:00～16:30）

【場所】大阪工業大学 梅田キャンパス OIT梅田タワー 3階 常翔ホール
（大阪市北区茶屋町1番45号）

【費用】無料

お申込・内容の詳細は下記URLまたは右QRコードにアクセスください。

<http://www.osaka.cci.or.jp/event/seminar/201803/D22180423011.html>



◇主催者挨拶

大阪商工会議所 会頭 尾崎 裕

大阪工業大学 学長 西村 泰志

◇概要紹介

◇基調講演「オープンイノベーションエコシステム構築に向けたビジョンの共有」

※同時通訳付



大阪工業大学 客員教授

Innovation Leadership Group LLC CEO

スタンフォード大学講師、“Foresight and Innovation”開発者

Tamara Carleton, Ph.D.

（タマラ・カールトン氏）

講師紹介

専門の研究分野はイノベーション創出のための教育・指導方法およびツール関連。イノベーション創出のコンサルティング会社 Innovation Leadership Group LLC の創業者・CEOで、開発したイノベーションツールは、Microsoft、SAP、Volvo、横河電気(株)など数百社が活用中。米国海軍でも指導を担うなど、イノベーション創出の第一人者として幅広く活躍している。

◇パネルディスカッション「大阪発・イノベーションの展望」

- | | | |
|---------|---|----------|
| ・モデレーター | 大阪工業大学 ロボティクス&デザイン工学部
システムデザイン工学科 教授 | 松井 謙二 |
| ・パネリスト | 株式会社E・C・R 代表取締役 | 小笠原 通晴 氏 |
| | 株式会社QUANTUM 執行役員(兼)CSO | 井上 裕太 氏 |
| | 株式会社Keigan 代表取締役 | 徳田 貴司 氏 |
| | 大和ハウス工業株式会社
経営企画部 事業企画推進グループ長 | 藤井 将朗 氏 |

◇施設見学

同日開設するオープンイノベーション拠点の施設を実際に見学いただけます。

※希望者のみ、定員50名(申込先着順)

◇主催



◇お問合せ

大阪商工会議所 経済産業部 産業・技術振興担当 TEL:06-6944-6300 E-mail:sangyo@osaka.cci.or.jp